

第3回関西支部研修会/CISJ

明日から役立つ歯内療法のエッセンス —エンドの疑問を解消します—

講師：木ノ本 喜史先生(大阪大学歯学部臨床教授)

日時：平成24年5月27日(日)

場所：大阪・ハービスプラザ



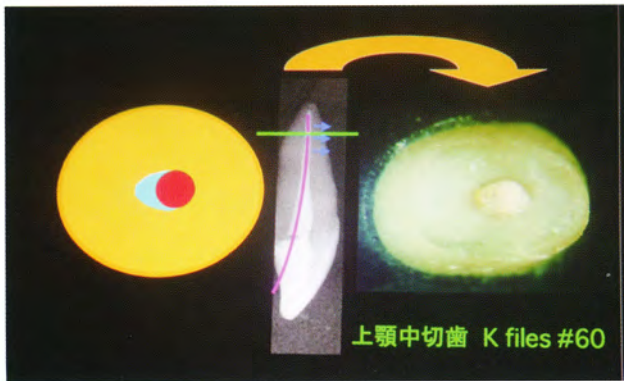
矢田 孔太朗 (滋賀県)



平成24年度第3回関西支部研修会が5月27日、大阪(西梅田)のハービスプラザ5階研修室にて開催されました。出席者が予定より多くなるという盛況ぶりで、活発な質問も飛び交い大いに盛り上がる中行われました。

歯内療法は日々の診療において、非常に身近なものであり、専門医やできる先生がだけがすればよいという処置ではありません。保険のおける評価は低いですが、とくに上部構造に高額な修復物をいれる場合には悩むことが多いものでもあるように感じます。今回はそういったことを含め基本から臨床に即した場合までひろく臨床に役立つ内容が満載であっ





たように感じました。

具体的な講義内容は、

- ・歯内療法の目的と基本、歯内療法の成功とは？
- ・臨床歯根解剖、抜髄の考え方、根管拡大の目的

と方法

- ・感染根管処置の考え方 など

以上のような内容でありました。先日、先生が歯科雑誌（クインテッセンス 2月号）に掲載した症例についても触れておられスライドもわかりやすく大変ためになりました。

個人的には 全歯種にわたる根管の形態やイスマス、フィンがある場合の対処法、トランスポートーションなどについて、基本的な解剖学的知識の重要性歯内療法の難しさを痛感しました。

本日はこのようなすばらしい講演会に参加させていただきありがとうございました。今回の学びを実際の臨床に生かしていけるようにしていきます。

